



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社ルネサンス

上場取引所 東

コード番号 2378 URL <https://www.s-renaissance.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 吉田 正昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員最高財務責任者 (氏名) 安澤 嘉丞

TEL 03-5600-5312

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	34,594	0.4	2,995	7.7	2,835	5.7	1,829	1.7
2019年3月期第3四半期	34,451	0.2	2,781	5.3	2,681	3.1	1,860	2.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,838百万円 (1.1%) 2019年3月期第3四半期 1,858百万円 (2.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	112.36	
2019年3月期第3四半期	109.96	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	37,893	16,539	43.6
2019年3月期	36,684	15,263	41.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 16,539百万円 2019年3月期 15,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		17.00		18.00	35.00
2020年3月期		17.00			
2020年3月期(予想)				18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,700	1.4	4,150	9.7	4,000	10.1	2,500	2.6	153.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	21,379,000 株	2019年3月期	21,379,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	5,094,206 株	2019年3月期	5,098,420 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	16,283,017 株	2019年3月期3Q	16,920,580 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)1ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、売上高が345億94百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益が29億95百万円（同7.7%増）、経常利益が28億35百万円（同5.7%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は18億29百万円（同1.7%減）となりました。

前年度は、自然災害によるルネサンス千里中央（大阪府豊中市）の施設閉鎖に伴い発生した受取補償金（特別利益）を計上したため、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比減となっております。

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年12月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調で推移いたしました。ただし、通商問題を巡る動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向など、依然として不透明な状態が続いております。

フィットネス業界においては、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、国民のスポーツへの参画意識の高まりを受けて、24時間型ジム等を中心とした小型業態の出店が続いており、市場は一層活性化しています。

当社は当連結会計年度を2年目とする中期経営計画（2018-2020）の基本方針に基づき、総合スポーツクラブを中核として、周囲に様々な業態の施設やサービスを組み合わせることで、「地域を健康に！」を実現し、既存事業の着実な成長により収益の拡大を目指すとともに、新たな市場や新規事業の創出に積極的に挑戦し、一層の成長を目指して取り組んでおります。

スポーツクラブ事業においては、地域の皆さまの健康増進の拠点としての役割を担う総合型スポーツクラブを中心に事業を拡大しております。総合型スポーツクラブは、ジム・スタジオ・プール等の運動エリアに加え、温浴施設やラウンジ等のコミュニティスペースを付帯し、会員の皆様に満足いただけるトレーニング環境を提供しております。また、お子様からご高齢の方まで幅広くご利用いただけるスイミングスクールやテニススクール等のスクール事業も展開しています。

当連結会計年度においては、6月にルネサンス久里浜（神奈川県横須賀市）をオープンいたしました。また、33施設においてリニューアル工事を実施し、施設環境の整備や魅力向上を図りました。

また、10月より多様なニーズに対応すべく新サービスや新プログラムを下表の通り導入いたしました。

カテゴリ	サービス・プログラム	導入施設数
映像プログラム	レズミルズバーチャル	89施設
ボディメイクプログラム	2ndBody（セカンドボディ）	34施設
会員向けアプリ	Myルネサンス	全施設

介護リハビリ事業においては、元氣ジム等の出店を積極的に行っております。当連結会計年度においては、下表の通り出店いたしました。

直営/FC	開業月	施設名	場所
直営	4月	元氣ジム練馬	東京都練馬区
直営	6月	ルネサンス運動支援センター	大阪府大阪市
直営	7月	リハビリステーション大船事業所	神奈川県鎌倉市
直営	9月	元氣ジム伊勢佐木長者町	神奈川県横浜市
直営	9月	元氣ジム三ツ境	神奈川県横浜市
FC	10月	元氣ジム岡山豊成	岡山県岡山市

なお、ルネサンス運動支援センターは、大阪国際がんセンター患者交流棟内で、がん患者の生活の質の維持・向上を運動の側面から支援する新たな業態となります。

健康ソリューション事業においては、自治体や民間企業の健康関連施設の開業支援や運営支援等に取り組んでおり、9月に鳥取県西伯郡伯耆町で2拠点目となる役場分庁舎空きフロアを活用した健康増進、コミュニティ及び就労機能を有する施設「みぞくちテラソ」の開業を支援いたしました。また、12月に桜宮ゴルフクラブ株式会社が運営する低酸素トレーニングジム「AOR (Air Oriented Room)」(大阪府大阪市)の開業を支援いたしました。

当第3四半期連結会計期間内の国内施設数は、スポーツクラブ 126 施設 (直営 98 施設、業務受託 28 施設)、スタジオ業態施設 11 施設、リハビリ施設 28 施設 (直営 22 施設、フランチャイズ 6 施設) の計 165 施設となりました。

今後の事業展開としては、当第4四半期連結会計期間では新たに下表の施設の出店を計画しています。

開業月	施設名	場所
1月	元氣ジムジュニア三ツ境	神奈川県横浜市
2月	元氣ジム大和	神奈川県大和市
3月	BETTER BODIES HI	東京都港区
3月	ジム&スタジオ綾瀬	東京都足立区
3月	元氣ジム綾瀬	東京都足立区

さらに、2021年3月期は下表の施設の出店を計画しています。

開業予定	施設名	場所
2020年初夏	ルネサンス仙台宮町(仮称)	宮城県仙台市
2020年初夏	ルネサンス山科榊辻(仮称)	京都府京都市
2020年秋	ルネサンス五月台(仮称)	神奈川県川崎市

また、2021年3月期においては上記のスポーツクラブの新規出店に加え、元氣ジム等のリハビリ施設、及び、ジム&スタジオ等の施設も複数出店予定です。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

イ. 資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億9百万円増加し、378億93百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したこと等により流動資産合計が10億88百万円増加したこと、及び新規出店や施設リニューアルに伴い有形固定資産が増加したこと等により固定資産合計が1億20百万円増加したことによるものです。

ロ. 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ66百万円減少し、213億54百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が減少した一方、短期借入金が増加したことにより流動負債合計が2億63百万円増加し、また、リース債務が減少したことにより固定負債合計が3億30百万円減少したことによるものです。

ハ. 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億75百万円増加し、165億39百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益18億29百万円を計上したこと、配当金5億69百万円を支払ったことにより利益剰余金が12億59百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、本資料の公開時点において、2019年5月8日公表の通期連結業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,739,671	3,930,642
売掛金	1,293,539	1,042,448
商品	228,561	218,722
その他	1,363,899	1,522,310
貸倒引当金	△6,304	△6,219
流動資産合計	5,619,367	6,707,904
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	8,527,507	8,848,972
リース資産 (純額)	7,436,900	7,100,424
その他 (純額)	3,132,436	3,432,230
有形固定資産合計	19,096,844	19,381,627
無形固定資産	1,040,484	1,027,949
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,478,175	8,477,873
その他	2,449,896	2,298,473
投資その他の資産合計	10,928,072	10,776,347
固定資産合計	31,065,400	31,185,925
資産合計	36,684,768	37,893,829
負債の部		
流動負債		
買掛金	75,554	47,675
短期借入金	600,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	2,390,000	1,930,000
未払法人税等	745,464	201,375
賞与引当金	1,001,138	504,864
資産除去債務	2,563	12,023
その他	3,765,244	4,447,303
流動負債合計	8,579,963	8,843,241
固定負債		
長期借入金	2,400,000	2,430,000
リース債務	7,805,670	7,461,458
退職給付に係る負債	721,986	757,722
資産除去債務	966,933	978,893
その他	946,443	882,857
固定負債合計	12,841,034	12,510,933
負債合計	21,420,998	21,354,174

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,380	2,210,380
資本剰余金	4,707,844	4,711,080
利益剰余金	13,541,527	14,801,269
自己株式	△5,147,599	△5,143,390
株主資本合計	15,312,151	16,579,339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,605	4,222
為替換算調整勘定	7,840	10,019
退職給付に係る調整累計額	△60,828	△53,925
その他の包括利益累計額合計	△48,381	△39,684
純資産合計	15,263,769	16,539,655
負債純資産合計	36,684,768	37,893,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	34,451,731	34,594,916
売上原価	29,704,517	29,659,671
売上総利益	4,747,214	4,935,245
販売費及び一般管理費	1,965,482	1,939,570
営業利益	2,781,731	2,995,674
営業外収益		
受取利息	12,390	10,906
補助金収入	20,000	—
その他	82,380	45,205
営業外収益合計	114,770	56,111
営業外費用		
支払利息	179,704	184,112
その他	35,067	32,054
営業外費用合計	214,771	216,166
経常利益	2,681,730	2,835,619
特別利益		
固定資産売却益	—	268
投資有価証券売却益	12,435	—
受取補償金	264,177	—
特別利益合計	276,613	268
特別損失		
固定資産除却損	5,361	22,326
減損損失	67,706	—
災害による損失	43,885	—
店舗閉鎖損失	—	23,000
その他	717	245
特別損失合計	117,670	45,571
税金等調整前四半期純利益	2,840,673	2,790,316
法人税、住民税及び事業税	704,029	747,707
法人税等調整額	276,085	212,975
法人税等合計	980,114	960,682
四半期純利益	1,860,558	1,829,633
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,860,558	1,829,633

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,860,558	1,829,633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△908	△383
為替換算調整勘定	△3,269	2,178
退職給付に係る調整額	1,702	6,902
その他の包括利益合計	△2,475	8,697
四半期包括利益	1,858,083	1,838,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,858,083	1,838,331
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。